

脳神経外科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] DPC データを利用した破裂脳動脈瘤によるくも膜下出血患者における脳血管攣縮の実態調査

注)

DPC とは従来の診療行為ごとの点数をもとに計算する「出来高払い方式」とは異なり、入院期間中に治療した病気の中で最も医療資源を投入した一疾患のみに厚生労働省が定め 1 日当たりの定額の点数からなる包括評価部分（入院基本料、検査、投薬、注射、画像診断等）と、従来どおりの出来高評価部分（手術、胃カメラ、リハビリ等）を組み合わせる方式です。

[研究機関] 北海道大学病院脳神経外科

[研究責任者] 宝金 清博 （脳神経外科・教授）

[研究の目的] くも膜下出血後の脳血管攣縮の治療成績の経年的変化を調査するため。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

くも膜下出血の患者さんで、平成 22 年 1 月 1 日から平成 24 年 12 月 31 日の間に当院でくも膜下出血の治療を受けた方

●利用するカルテ情報

患者年齢、患者性別、発症前mRS（日常生活自立度（modified Rankin Scale））、既往歴、くも膜下出血重症度、動脈瘤部位、CT分類、手術法、ドレナージの有無、脳還流の有無、薬剤使用の有無、症候性攣縮の有無、新たな脳梗塞の出現、正常圧水頭症の出現、転帰。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院脳神経外科 担当医師 数又 研

電話 706-5987 FAX 011-708-7737